

章	意見	修正内容	頁
全体	西暦・和暦はどちらかに統一すべき。	和暦に統一	-
	図は図の下に、表は表の上につけるよう修正すること。	全面的に修正	-
第3章 大規模公園の特徴	表-4の「周辺のエリアに存在する特筆すべき資源」について、たとえば、海浜公園などは車椅子で公園に行けるようになったということも書き込んで良いと思う。	ユニバーサルビーチプロジェクトを追記	15
	“レクリエーション”という言葉について、p16では個別の指標として使われている一方、p18, 19, 22ではもっと広い意味で使われているように思う。用語の整理が必要。	“レクリエーション”はスポーツや遊び、健康づくり等幅広い機能を含む包括的な言葉として取り扱うこととし、本編を下記の通り修正 ・p16表5③において、スポーツ・健康づくりとレクリエーションを並列関係の指標としていたため、レクリエーションを削除	16
第4章 大規模公園の 将来の方向性	“レクリエーション”という言葉について、p16では個別の指標として使われている一方、p18, 19, 22ではもっと広い意味で使われているように思う。用語の整理が必要。	“レクリエーション”はスポーツや健康づくり等種々の利用を含む包括的な言葉として取り扱うこととし、本編を下記の通り修正 ・p19図19において、レクリエーションを削除 ・p22基本方針2の②において、「スポーツ・レクリエーション・健康づくり」の文言を「スポーツ・遊び・健康づくり」に修正	18, 19, 22
	重視すべき点における「神戸を伝え、発信する」の中で戦災を挙げているが、少なくともこれまでは戦災を伝える取り組みがあったとは思えず、挙げているだけにならないよう、戦災についても位置づけをしっかりとしてもらいたい。	重視すべき視点2「神戸を伝え発信する」の文言を修正し、公園の持つ戦災の記録についても、後世に伝えるべき資源として位置づけ。	19
第5章 基本方針と施策 展開イメージ	基本方針が、順番に存在効果、利用効果、媒介効果、それを実現する方策、にわかれていることをもっと強調したらよい。(具体例：基本方針1の②を、基本方針の2に持ってくる)	基本方針1のタイトルを「都市を守るグリーンインフラの保全と活用」から「都市を守るグリーンインフラの保全と育成」に修正 基本方針1 施策展開の具体例②「森林や水辺など豊かな自然環境を活かした環境学習や自然体験の場の提供」を基本方針2に移行	21, 22
第6章 取り組みの イメージ	公園が生物多様性の場として重要だという視点について、今後、他の部局と協調・連携しながら伝えていくことが重要。 1つの公園のグリーンインフラの価値だけではなく、エコロジカルネットワーク等の観点から、今後の施策を展開していただきたい。	第六章1.趣旨 第二段落「ここでは～」に続く形で、下記の通りエコロジカルネットワークの観点から文章を追記。 「ここでは、複数の大規模公園(中略)生物多様性や生態系のネットワークの形成に寄与するよう、豊かな自然環境や趣のある風致景観を守り育てていきます。」	25
第7章 ビジョンの展開	市民にとって分かりやすい広報・発信の方法についてさらなる検討が必要	従来型のHPや広報誌といった発信方法だけでなく、時代に合った発信方法を今後継続して検討	34